



日時：5月19日（土）13時30分開始 集会後デモ

（京都市役所前まで）

会場：東山いきいき市民活動センター二階集会室（資料代500円）

ゲスト：永井友昭さん（米軍基地建設を憂う宇川有志の会）

- ・映像 基地建設から現在までの経過と闘い 駒井高之さん
- ・あらためて学ぶ米軍Xバンドレーダーとは何か 大湾宗則さん
- ・現地報告と地元住民の声 永井友昭さん（憂う会）
- ・基地撤去の展望をつくりだしていくために 山本純さん

これらの報告を受けて基地撤去の闘いを大きく広げよう！



永井友昭さん

● 住民の安全・安心を脅かす米軍基地

2014年12月に運用が開始された米軍Xバンドレーダー基地。京都府京丹後市宇川の風光明媚な海岸にこの基地はあります。地元の住民の誰ひとりとして、米軍基地の誘致を望んでいたわけではありません。しかし、2013年の日米安保協定で日米両国政府が合意し、京都府・京丹後市が受け入れ表明を行うことによって、それは地元の住民におしつけられました。現在、米陸軍第14ミサイル防衛中隊およびセネガ社・レイセオン社の軍属あわせて100人強が駐留していると推定されます。

この米軍基地は米国のミサイル防衛戦略の拠点のひとつとなるものです。朝鮮半島方向に向けて設置されたXバンドレーダーは、射程1000kmから4000kmで弾道ミサイルの発射の把握と追尾などを行うもので、その情報は迎撃ミサイルを保持する日米両軍に共有されます。敵国を先制攻撃したとしても、その国が反撃のために発射するミサイルを完全に迎撃できなければ先制攻撃した国もぼう大な被

害を被ることになります。したがって核・ミサイルを使用する現代の戦争では、ミサイル防衛戦略は敵国への先制攻撃のために不可欠なものなのです。米国は、ハワイやグアムの米軍基地を標的としたミサイルの迎撃を想定しており、日本の防衛には何の役にも立たないものです。

基地運用が開始されて3年余り、地元宇川の住民は基地からの低周波騒音、米軍人・軍属による交通事故などに苦しめられてきました。軍人・軍属による交通事故は、死亡事故こそまだ無いもののすでに59件になります。また、強烈な電磁波による健康被害への不安も引き続いています。そして、沖縄をはじめとした全国各地の米軍基地とその周辺での米軍機の墜落事故、物品の落下事故が連続し、住民の不安は増すばかりです。4月半ばからの米軍人の居住関連施設を建設する二期工事は、基地の固定化をもたらすもので絶対に容認できません。

● 東アジアの平和を！戦争のための基地はいらない！

東アジアでは軍事的緊張が激しくなり、朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）と日米両国の間で核戦争の危険性が高まってきました。米・トランプ政権は、朝鮮への武力攻撃を否定してきませんでした。

朝鮮もこれに対抗して核・ミサイル開発を推進し、米本土だけではなく在日米軍基地もまた攻撃の対象になると表明してきました。こうして米軍基地があるために、京丹後は東アジアの戦争の危機の最前線

におしだされてきたのです。若狭には、高浜・大飯など原発がいくつも存在しています。戦火がこれらの原発群にまで及べば、京丹後の住民だけではなく、近畿・東海地方などのぼう大な住民が犠牲者となる大惨事となります。東アジアでの戦争は絶対に避けねばなりません。

平昌オリンピックへの朝鮮の参加表明から、いま東アジアでは対話の流れが生みだされ、4月には朝鮮南北首脳会談、5月には米朝首脳会談が開催されます。私たちはこれを歓迎し、東アジアの真の平和への歴史的な転換点となることを願うものです。しかし、トランプ政権や安倍政権は4月にも巨大な米韓合同軍事演習を実施し、朝鮮への厳しい制裁を続

け、対話の流れがとん挫すればいつでも朝鮮を武力攻撃する態勢を維持しています。東アジアの平和に向けた対話と戦争のための合同軍事演習は両立しません。朝鮮は、対話が続いている間は核実験やミサイルの発射を行わないと表明しました。トランプ政権もまた米韓合同軍事演習を中止することでこれに応えるべきなのです。そもそも防衛省は、「北朝鮮の脅威」を口実にして京丹後の米軍基地の必要性を主張してきました。東アジアでの戦争の危機が解消され、新しい平和な時代が訪れれば、もはや京丹後の米軍基地も必要なくなるはずです。私たちはあらためて米軍基地の撤去を要求します。

● 5・19京都集会にご参加を！ 6・3京丹後総決起集会に結集しよう！

私たち米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会／近畿連絡会は、この東アジア情勢の歴史的な転換点にあって、米軍基地建設二期工事に反対し、米軍基地撤去を求めて6月3日に京丹後総決起集会を開催します。また、その前日には京丹後総決起集会に参加する韓国・沖縄・岩国からのゲストを囲んで、連帯交流集会を開催します。そして、これらの取り組みにむけて、5月19日には京都市内での集会を開催します。5月19日の集会では、米軍基地建設から4年間の経過と闘いを振り返りつつ、あらためて基地撤去にむけて想い

をあらたにしていきたいと思えます。この5月19日には、京丹後の米軍基地問題に一貫して取り組んできた地元住民の団体である「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」の事務局長である永井友昭さんにご参加いただきます。集会では ①映像 基地建設から現在までの経過と闘い（駒井高之さん）②あらためて学ぶ米軍Xバンドレーダーとは何か（大湾宗則さん）③現地報告と地元住民の声（永井友昭さん）④基地撤去の展望をつくりだしていくために（山本純さん）の報告を行います。これらの報告を受けて基地撤去の闘いを大きく広げましょう。

米軍Xバンドレーダー基地撤去！東アジアの平和を！ 6・3京丹後総決起集会

日時：6月3日（日）13時 集会開始（集会後、基地に向けてデモ）

会場：久僧公民館（京丹後市宇川）

ゲスト：韓国 沖縄（山城博治さん）

主催：米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

協賛：米軍基地建設を憂う宇川有志の会

参加費：無料（会場カンパのお願いあり）

京丹後総決起集会前日の連帯交流集会

日時：6月2日（土）15時～18時

会場：東山いきいき市民活動センター二階集会室

内容：韓国・沖縄のゲストのお話と質疑・意見交換

米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会 連絡先：京都市上京区四番町121-5 大湾宗則方
電話&FAX 075-467-4437